

# 令和の学校を考える

～南島原市の新しい学校の在り方について～

南島原市教育委員会

# 内 容

- 1 学校規模について
- 2 南島原市の現状
- 3 小規模校のメリット、デメリット
- 4 本市学校教育の課題
- 5 令和の時代に求められる学校の姿
- 6 これからの学校の形

# 1 学校規模について

小学校の学級数は、十二学級以上十八学級以下を標準とする。

(学校教育法施行規則第四十一条)

※第七十九条において中学校に準用

1 2 学級未満の学校は、小規模校  
複式学級がある学校は、極小規模校

## 2 本市の現状

小学校：4学級～12学級

中学校：3学級～7学級

※特別支援学級除く

※小学校は、西有家小学校、有家小学校  
以外は小規模校。

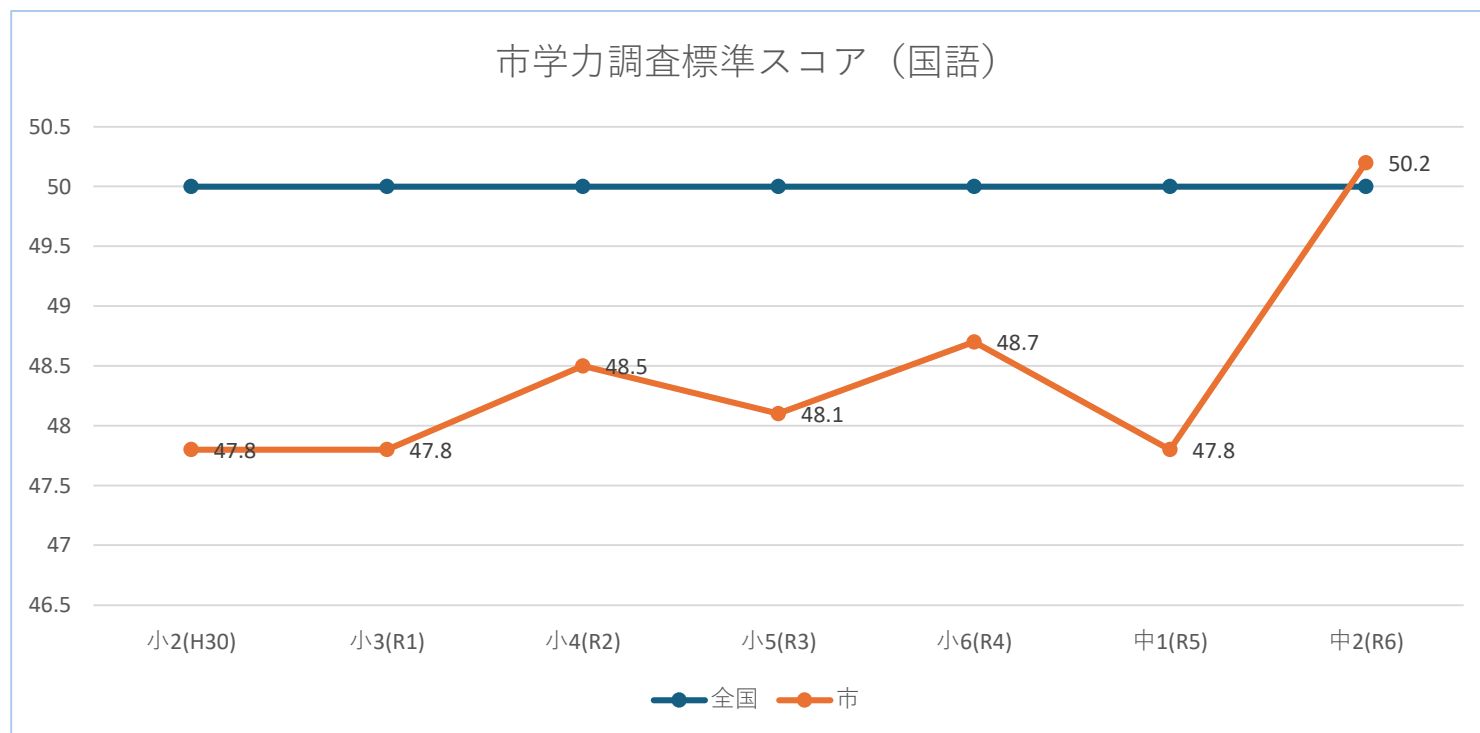
※中学校は、8校すべて小規模校

### 3 小規模校のメリット、 デメリット

| メリット                     | デメリット                             |
|--------------------------|-----------------------------------|
| 個に応じた指導が行いやすい            | 人間関係が固定化しやすい                      |
| 発表の機会が多い                 | 社会性やコミュニケーション力が身につみにくい            |
| リーダーを務める機会が多くなる          | 多様なものの見方や考え方、表現の仕方に触れることが少ない      |
| 運動場や体育館、特別教室などが余裕をもって使える | 経験年数、専門性、男女比等バランスの取れた教職員の配置が困難となる |
| 保護者や地域との連携がしやすい          | 免許外指導の教科が生まれる可能性がある               |
| 部活動で試合に出られる機会が多い         | 部活動の数が少なくやりたい競技や活動ができない           |

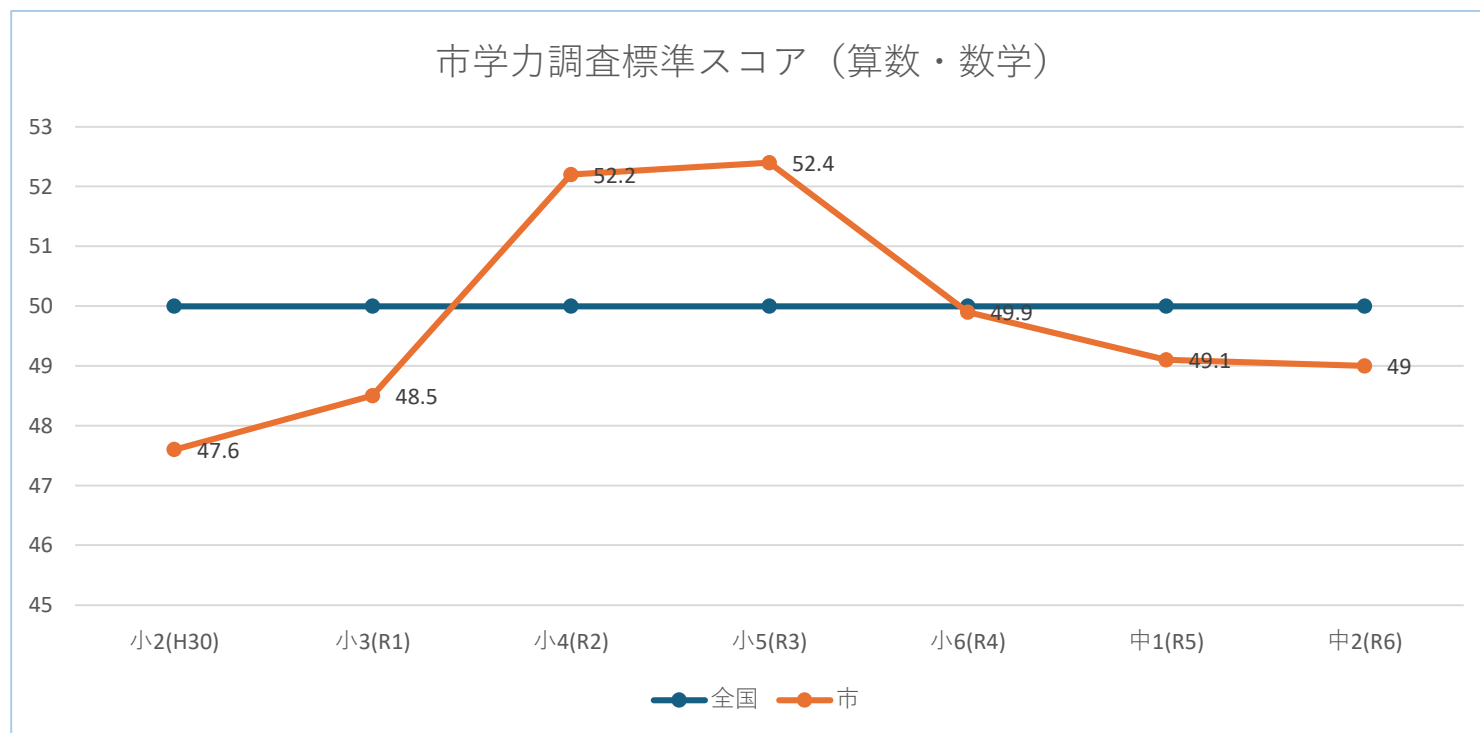
# 4 本市学校教育の課題

## (1) 学力【国語】



# 4 本市学校教育の課題

## (1) 学力【算数・数学】



# 4 本市学校教育の課題

## (1) 学力

その要因は？

学ぶ意欲

授業改善

家庭学習

高校進学

小規模校の  
デメリット？

非認知能力

思考力 表現力

主体性

コミュニケーション力

# 4 本市学校教育の課題

主体性

学力

指示待ち

コミュニケーション力

思考力  
表現力

メリット

デメリット

個に応じた指導が行いやすい

人間関係が固定化しやすい

発表の機会が多い

社会性やコミュニケーション力が身につにくい

リーダーを育てる機会になる

授業改善

多様なものの見方や考え方、表現の仕方に触れることが少ない

運動場や体育館、特別教室などが余裕をもって使える

経験年数、専門性、男女比等バランスの取れた教職員の配置が困難となる

保護者や地域との連携がしやすい

指導の専門性

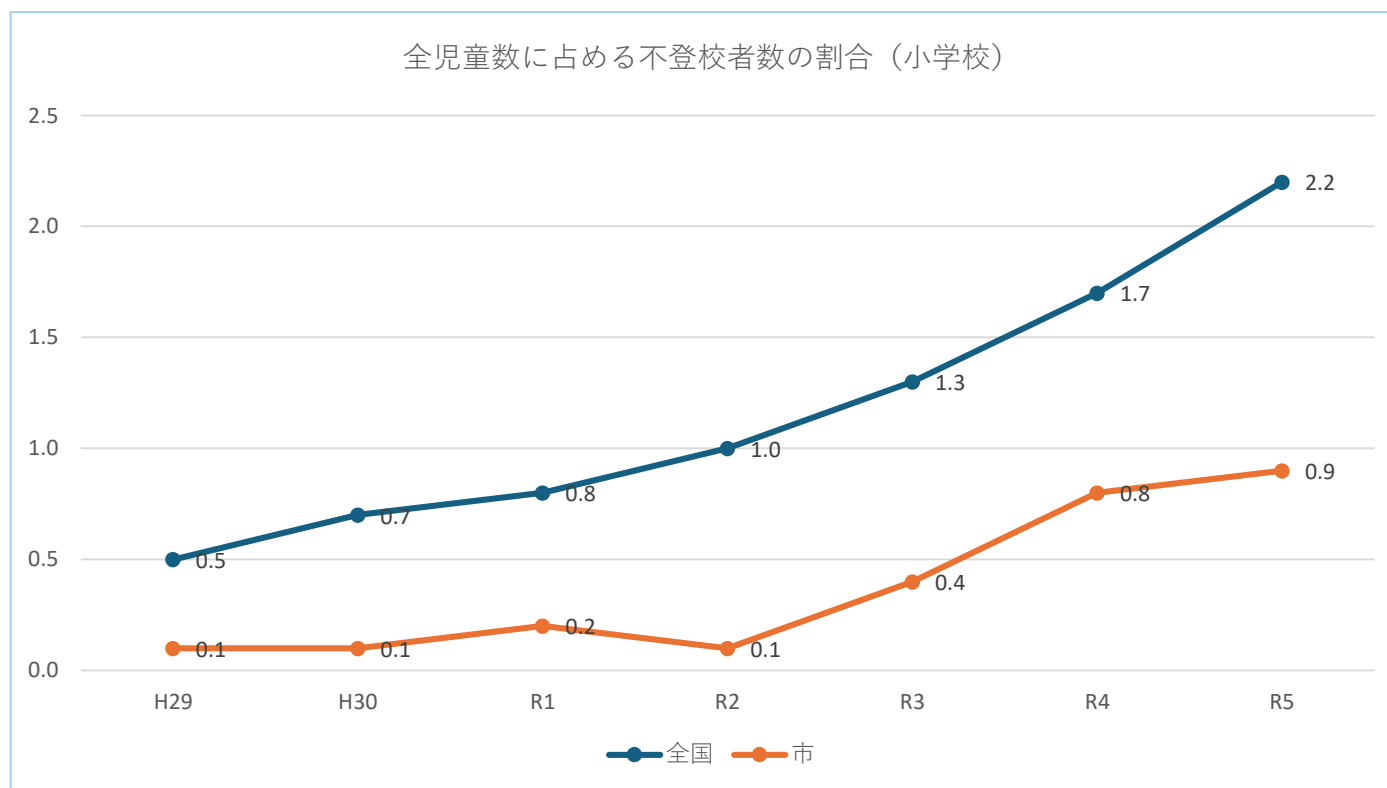
免許外指導の教科が生まれる可能性がある

部活動で試合に出られる機会が多い

部活動の数が少なくやりたい競技や活動ができない

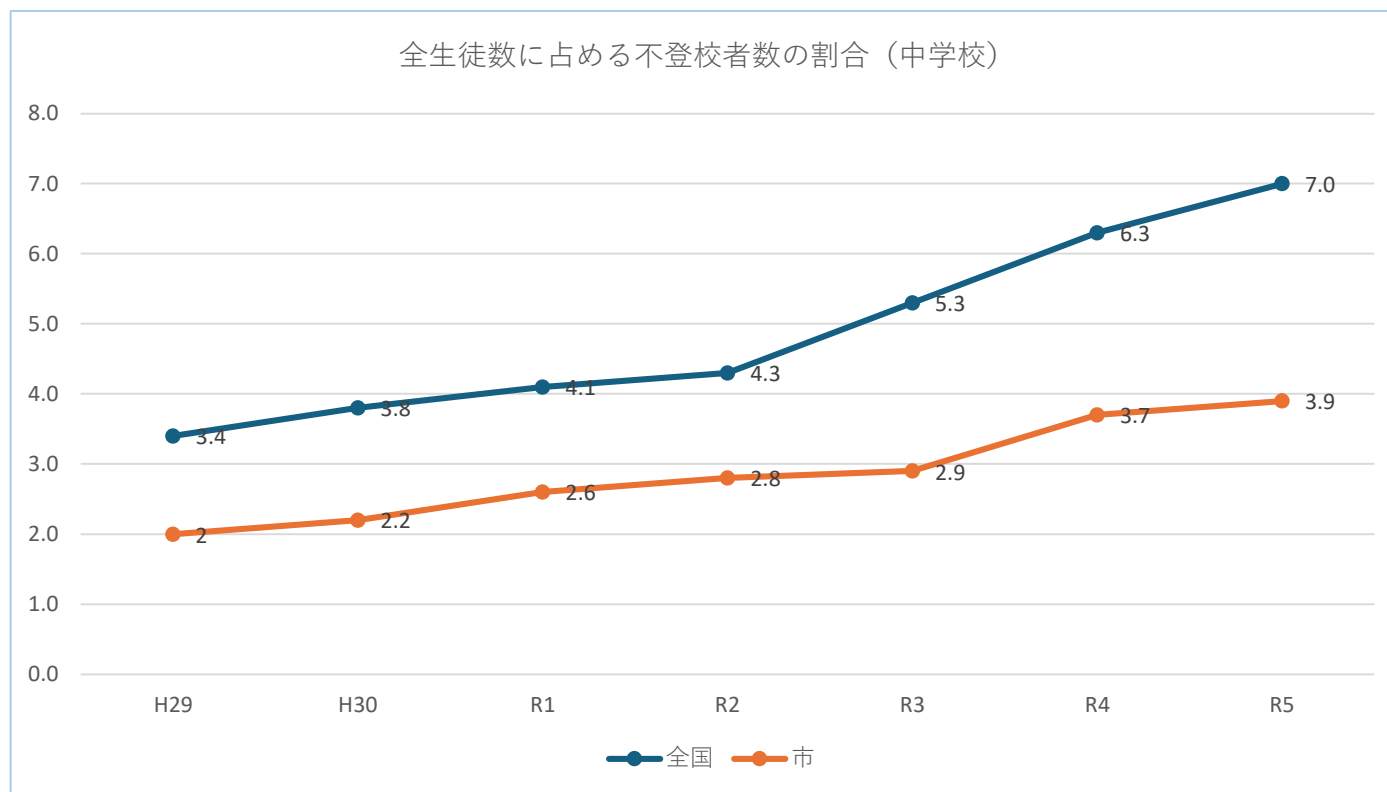
# 4 本市学校教育の課題

## (2) 不登校【小学校】



# 5 本市学校教育の課題

## (2) 不登校【中学校】



# 4 本市学校教育の課題

## (2) 不登校

その要因は？

学業不振

自己肯定感

友人関係

保護者の考え

小規模校の

生活の乱れ

教師との関係

デメリット？

メディアの影響

家庭環境

心身の不調

# 4 本市学校教育の課題

## (2) 不登校

コミュニケーション力

友人関係

### メリット

### デメリット

個に応じた指導が行いやすい

人間関係が固定化しやすい

発表の機会が多い

社会性やコミュニケーション力が身につみにくい

リーダーになる

教師との関係

運動が余裕をもって使える

多様なものの見方や考え方、表現の仕方に触れることが少ない

経験年数、専門性、男女比等バランスの取れた教職員の配置が困難となる

保護者や地域との連携がしやすい

免許外指導の教科が生まれる可能性がある

部活動で試合に出られる機会が多い

部活動の数が多いができない

自己肯定感

部活動

# 5 令和の時代に求められる 学校の姿

## 「令和の日本型学校教育」の姿（文部科学省）



子供の学び

個別最適な学び  
協働的な学び  
主体的・対話的で  
深い学び  
ICTの活用



教職員の姿

教師の資質・能力の向上  
多様な人材の確保  
家庭や地域社会との連携  
学校における働き方改革



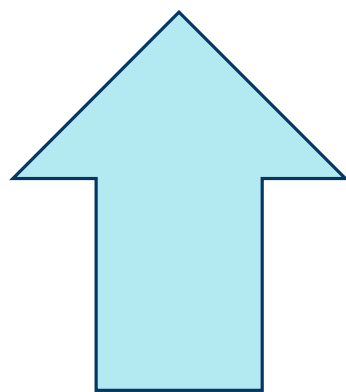
子供の学びや  
教職員を支える環境

ICT環境の整備  
学校施設の整備  
少人数によるきめ  
細かな指導体制

# 6 これからの学校の形

令和の日本型学校教育の実現

1 学年  
複数学級  
を有する  
学校



誰一人  
取り残さ  
ない学校

本市学校教育の課題解決

## 6 これからの学校の形

(1) 小学校統合、中学校統合

(2) 小中一貫教育

(3) 学校選択制（特認校制）の導入

(4) 学びの多様化学校

## 6 これからの学校の形

### (1) 小中一貫教育とは

小学校と中学校が「めざす子ども像」を共有し、**9年間を通じた教育課程**を編成し、系統的な教育をめざす教育

# 6 これからの学校の形

## (1) 小中一貫教育とは

### 小中連携教育

小・中学校段階の教員が互いに情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す様々な教育

### 小中一貫教育

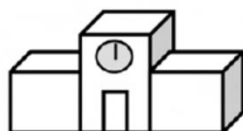
小中連携教育のうち、小・中学校段階の教員が目指す子供像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的教育を目指す教育

#### ①義務教育学校

・新たな学校種(一つの学校)

⇒一人の校長、  
一つの教職員組織

修業年限:9年  
(前期課程6年+後期課程3年)

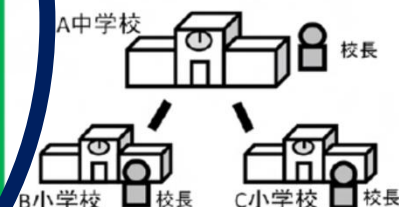


校長(1人)

#### 小中一貫型小学校・中学校

・組織上独立した小学校及び中学校が一貫した教育を施す形態  
⇒それぞれの学校に校長、教職員組織

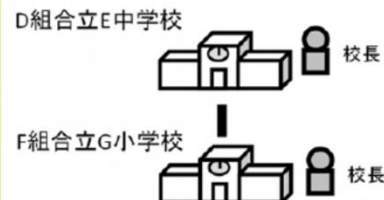
#### ②併設型小学校・中学校 (同一の設置者)



※一貫教育にふさわしい運営体制の整備が要件

例・総合調整を担う校長を定める  
・学校運営協議会の合同設置  
・校長等を併任

#### ③連携型小学校・中学校 (異なる設置者)



※併設型小・中学校を参考に適切な運営体制を整備すること

※①②③いずれも施設の形態は問わない。

# 6 これからの学校の形

## (2) 義務教育学校とは

小学校から中学校までの  
9年間の義務教育を一貫して行う  
新たな学校の種類

義務教育学校は、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を基礎的なものから一貫して施すことを目的とする。

(学校教育法第四十九条の二)

義務教育学校の修業年限は、九年とする。

(学校教育法第四十九条の四)

# 6 これからの学校の形

## (3) 義務教育学校創設の背景

- ①義務教育の目的・目標規定の新設
- ②教育内容や学習活動の質的・量的充実
- ③児童生徒の発達の早期化等に関わる現象
- ④中1ギャップへの対応
- ⑤学校の社会性育成機能の強化

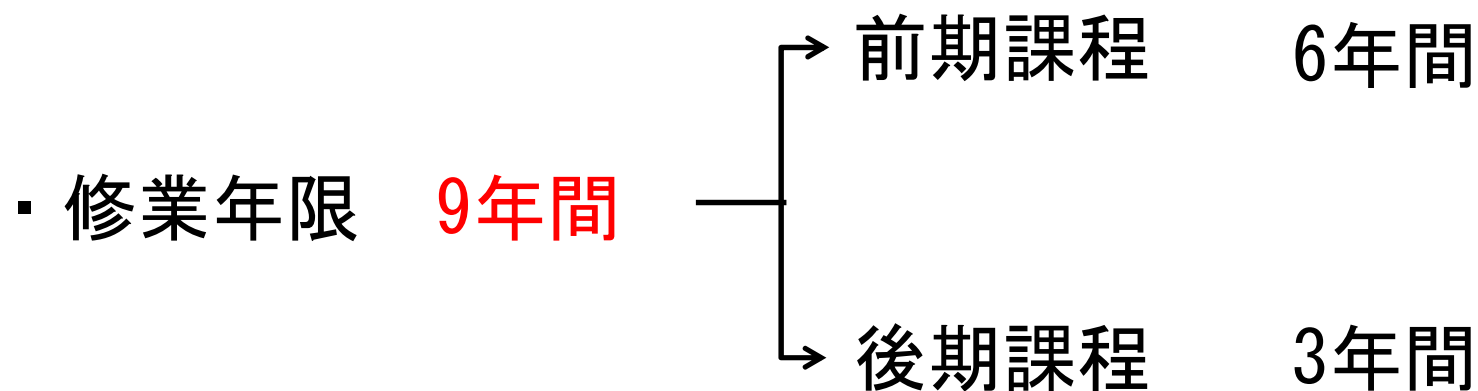
## 6 これからの学校の形

### (4) 義務教育学校の校数

| 年度     | 校数   |
|--------|------|
| 平成28年度 | 22校  |
| 令和6年度  | 238校 |

# 6 これからの学校の形

## (5) 義務教育学校の修業年限



※柔軟な学年段階の区切り設定可能

例 「4－3－2」 「5－4」

# 6 これからの学校の形

## (6) 義務教育学校の教育課程

- ・ **前期課程** 小学校学習指導要領準用
- ・ **後期課程** 中学校学習指導要領準用

※設置者の判断で教育課程の特例を設けることが可能

例 前期課程における英語教育、ふるさと学習

# 6 これからの学校の形

## (6) 義務教育学校の教育課程

|    | 佐賀県<br>大町町立<br>大町ひじり学園                                                                    | 佐賀県<br>多久市立<br>東原庠舎中央校<br>東原庠舎東部校<br>東原庠舎西溪校                                                                                                                                                          | 山形県<br>新庄市立<br>萩野学園                                                                                                                                   | 東京都<br>品川区立<br>日野学園                                                                                                                                                                                      |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 特色 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年一貫した授業スタイル「<b>大町型スタイル</b>」(問題解決的学習)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科の<b>一貫カリキュラム</b></li> <li>・<b>多久学</b>(3～6年、総合)</li> <li>・<b>論語教育、論語カルタ、論語検定</b></li> <li>・<b>英語教育</b>(1・2年は英語活動、3・4年は国際理解、5・6年は外国語活動、7～9年は英語科)等</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・9年間の<b>一貫カリキュラム</b>による指導</li> <li>・「<b>地域に根ざした</b>」がキーワード</li> <li>・<b>ふるさと学習、キャリア教育、心の教育</b>に重点 等</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>日野カリキュラム</b>の実践</li> <li>・各教科に加え、<b>ステップアップ学習</b>(5～9年) <b>英語科</b>(1～6年) <b>市民科</b>(全学年)</li> <li>・5年生から<b>定期考査</b></li> <li>・5年生から<b>部活動の参加可能</b></li> </ul> |

# 6 これからの学校の形

## (7) 義務教育学校の施設

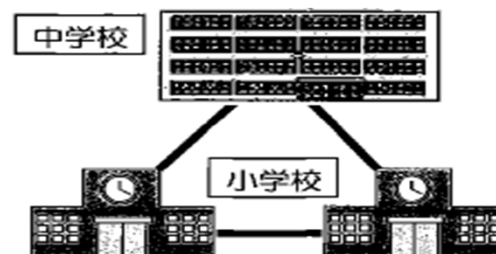
- 施設一体型



- 施設分離型



- 施設隣接型



# 6 これからの学校の形

## (7) 義務教育学校の施設

|          |                        |                                              |                     |                                                 |
|----------|------------------------|----------------------------------------------|---------------------|-------------------------------------------------|
|          | 佐賀県<br>大町町立<br>大町ひじり学園 | 佐賀県<br>多久市立<br>東原庠舎中央校<br>東原庠舎東部校<br>東原庠舎西溪校 | 山形県<br>新庄市立<br>萩野学園 | 東京都<br>品川区立<br>日野学園                             |
| 施設<br>形態 | 施設一体型<br>(新築)          | 施設一体型<br>(新築、一部改<br>築、既存施設活<br>用)            | 施設一体型<br>(新築)       | 施設一体型<br>(新築)<br>※地域に対して総合<br>体育館と温水プー<br>ルを開放。 |

## 6 これからの学校の形

### (8) 義務教育学校設置の効果

① 小学校教育から中学校教育への  
緩やかな移行



中学校進学に伴う生徒の負担軽減

# 6 これからの学校の形

## (8) 義務教育学校設置の効果

②教育課程の特例による  
独自の教育課程の創造



特色ある学校づくりの推進

# 6 これからの学校の形

## (8) 義務教育学校設置の効果

### ③9年間の学びに連続性（系統性）

小学校教員、中学校教員の相互乗り入れ授業



**児童生徒の学力向上**

## 6 これからの学校の形

### (8) 義務教育学校設置の効果

④小学校、中学校それぞれの  
長所を生かした多様な生徒指導



学校生活への不適応、  
問題行動等の未然防止

# 6 これからの学校の形

## (9) 義務教育学校設置の課題

- ▲6年生のリーダー性が育ちにくい。
- ▲5年生におけるギャップが生じた。
- ▲小中の学校文化の違いがある。  
(教職員の意識の違い)
- ▲施設分離型では小中一貫教育の効果は得られにくい。

※視察した義務教育学校から出された課題

# 6 これからの学校の形

## (10) 長崎県の中高一貫教育（連携型）

|     | 市町（地区）         | 小中学校名<br>（児童生徒数）           | 高校名<br>（生徒数）   | 特徴                                                                                                      |
|-----|----------------|----------------------------|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 小中高 | 佐世保市<br>（宇久地区） | 宇久小学校（35人）<br>宇久中学校（13人）   | 宇久高校<br>（13人）  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種行事の連携</li> <li>・ 6、12年間の教育課程の編成</li> <li>・ 乗り入れ授業</li> </ul> |
|     | 小値賀町           | 小値賀小学校（70人）<br>小値賀中学校（41人） | 北松西高校<br>（19人） |                                                                                                         |
|     | 五島市<br>（奈留地区）  | 奈留小学校（22人）<br>奈留中学校（15人）   | 奈留高校<br>（27人）  |                                                                                                         |
| 中高  | 西海市<br>（大崎地区）  | 大崎中学校（104人）                | 大崎高校<br>（106人） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ チーム・ティーチング（TT）</li> </ul>                                      |
|     | 対馬市<br>（上対馬地区） | 佐須奈中学校（18人）<br>比田勝中学校（50人） | 上対馬高校<br>（70人） |                                                                                                         |

※既存の市町村立中学校と県立高等学校の教育課程の連携による接続（教育課程の一部を連携。高等学校へ上がる段階で簡便な選抜を実施）

ご清聴ありがとうございました

